

名古屋市観光客・宿泊客動向調査 -概要版-

(平成23年度)

平成24年10月

名古屋市市民経済局

注１：本文中で用いたテレビ塔、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注２：表、グラフに記してある居住地別などの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

本書（概要版）および本編については、名古屋市ホームページ（www.city.nagoya.jp）に掲載しております。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成23年度）概要版

1 調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査結果の概要

(1) 観光客の入込動向

【全国観光統計基準の採用】

愛・地球博開催を契機に平成17年度より、従来の調査観光地点に、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を加え、平成23年度については、84地点の観光入込客数を把握した。

【観光入込客延べ人数】

観光地点（84地点）の平成23年度観光入込客延べ人数は約5,487万人であり、平成22年度と比較して約122万人増加（対前年度比率102.3%）した。

平成23年3月に開館した「リニア・鉄道館」、プラネタリウムなどをリニューアルした「名古屋市科学館」が人気を博したことと、東日本大震災の影響で22年度中止になった「名古屋国際女子マラソン」が、新たに「名古屋ウィメンズマラソン」として開催されたことが主な増加の要因である。

■ 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(25) 20,510,622	(25) 21,251,645	(25) 21,187,666	(26) 20,983,337
	産業観光	(5) 1,615,170	(5) 1,499,021	(7) 1,617,800	(6) 2,509,590
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(18) 11,231,946	(16) 11,992,827	(16) 11,350,923	(16) 11,573,957
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(15) 7,772,812	(15) 7,929,956	(15) 7,943,392	(15) 7,003,732
	イベント	(19) 11,345,439	(23) 11,931,312	(22) 11,555,221	(21) 12,800,144
計		(82) 52,475,989	(84) 54,604,761	(85) 53,655,002	(84) 54,870,760

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

◆ 調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成8年3月に社団法人日本観光協会（現 日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が5万人以上かつ、市外の観光入込客数が2割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間5万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

【観光入込客 実人数の推計】

観光客調査により平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を算出した。平成 23 年度の観光入込客実人数は 3,326 万人であり、昨年度に比べ 204 万人減少した。

宿泊施設調査により、宿泊客実人数を推計し、宿泊客調査と観光客調査により、居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客・日帰り客実人数を推計した。

■ 観光入込客実人数の推移

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
観光入込客延べ人数（人）	52,475,989	54,604,761	53,655,002	54,870,760
平均訪問観光地点数	1.64	1.66	1.52	1.65
観光入込客実人数（万人）	3,200 万人	3,289 万人	3,530 万人	3,326 万人
宿泊客実人数（万人）	472 万人	460 万人	461 万人	519 万人
日帰り客実人数（万人）	2,728 万人	2,829 万人	3,069 万人	2,807 万人

■ 市内・市外別宿泊客数・日帰り客数の推計

	実人数計	居住地割合		観光入込客実人数	
		名古屋市内	名古屋市外	名古屋市内	名古屋市外
観光入込客	3,326 万人	36.1%	63.9%	1,201 万人	2,125 万人
宿泊客	519 万人	4.8%	95.2%	25 万人	494 万人
日帰り客	2,807 万人			1,176 万人	1,631 万人

【観光消費額の推計】

観光客調査により、観光入込客の名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計した。平成 23 年度の名古屋市内の観光総消費額は、2,406 億円であり、昨年度に比べ 183 億円減少した。

■ 宿泊・日帰り別観光総消費額の推移

		平成 22 年度	平成 23 年度
宿泊客一人あたり消費額		22,016 円	16,870 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内	3,540 円	3,875 円
	名古屋市外	6,411 円	6,582 円
宿泊客総消費額		1,015 億円	876 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内	486 億円	456 億円
	名古屋市外	1,088 億円	1,074 億円
観光総消費額		2,589 億円	2,406 億円

■ 主な旅行費用項目別消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		合 計	平成 22 年度
		名古屋市内	名古屋市外		
食事費消費額	361 億円	172 億円	335 億円	868 億円	797 億円
交通費消費額	107 億円	59 億円	210 億円	376 億円	330 億円
土産費消費額	255 億円	68 億円	269 億円	592 億円	576 億円
宿泊費消費額	526 億円			526 億円	480 億円

(2) 観光客・宿泊客の実態

①観光地点入込客

名古屋城はじめ4観光施設において、秋・春それぞれ平日・土曜・日曜の計6回、及び名古屋まつり開催時、ポートメッセなごやにおいてイベント開催時に2回、調査員が対面聞き取りにより調査した（合計3,754サンプル）。

■調査観光地点とサンプル数

	名古屋城	熱田神宮	ノリタケの森	名古屋港水族館	名古屋まつり	イベント会場	合 計
サンプル数	636	634	628	622	611	623	3,754

【観光地点別入込客の特性】

「名古屋城」において「東海地域以外」からの入込客の割合が多くなっている。一方「名古屋まつり」においては「名古屋市内」の割合が多くなっている。また、「熱田神宮」や「ノリタケの森」においては高齢層の割合が多く、「名古屋港水族館」や「名古屋城」においては若年層の割合が多くなっている。

【観光入込客の遊覧状況】

主要観光施設への立ち寄り状況は、下記のようになっており、調査場所の近隣の観光施設に立ち寄っている割合が多い。

■ 主な観光施設入込客の遊覧状況

（単位：％）

訪問施設 観光地点	名古屋城	熱田神宮	ノリタケの森	名古屋港水族館	テレビ塔	名古屋港	リニア・鉄道館	徳川美術館	徳川園	ミッドランドスクエア等	名古屋市科学館	東山動植物園	その他	平均訪問施設数
名古屋城		9.3	5.5	2.0	4.2	1.7	2.4	4.4	6.8	1.4	3.1	2.8	17.5	1.61
熱田神宮	19.9		2.2	1.4	1.1	1.7	1.7	3.3	1.9	2.5	1.1	0.6	15.4	1.53
ノリタケの森	20.9	6.1		1.8	2.7	0.3	3.0	7.0	6.2	4.1	3.5	0.6	23.1	1.79
名古屋港水族館	7.9	2.3	0.8		2.1	14.0	3.4	0.3	0.5	3.9	3.5	4.5	18.1	1.61
名古屋まつり	17.5	2.5	2.0	1.1	16.2	0.5	1.6	3.4	3.1	1.8	2.1	2.6	31.5	1.86
イベント会場	4.0	1.8	0.5	5.0	1.9	7.5	13.6	0.5	0.8	4.0	1.9	1.1	10.2	1.53

（複数回答）

【観光入込客の旅行費用】

今回の旅行費用の平均額は、旅行予算は13,753円、名古屋市内での消費額は7,666円、市内交通費1,152円、土産代1,921円、食事代2,823円である。また、宿泊者の1泊の宿泊代は10,132円となっている。

■ 主な観光施設入込客の消費額

	旅行予算	市内消費額	市内交通費	市内での土産代	市内での食事代	宿泊代
平均額（円）	13,753	7,666	1,152	1,921	2,823	10,132

②宿泊客

市内の20の宿泊施設の協力を得て、秋・春の計2回（各調査期間1か月間）、宿泊客に対し、アンケート調査を実施した。（秋期：265、春期：436、合計701サンプル）

【宿泊客の属性】

「名古屋市内」と「愛知県（名古屋市を除く）」、「岐阜県・三重県・静岡県」を合わせた「東海地域」の割合は28.3%で、「関東」が32.3%、「近畿」が13.6%、「甲信越」が4.4%、「北陸」が4.0%となっている。

【旅行・訪問の目的】

「観光施設の見学」（25.5%）、「観劇・コンサート」（8.2%）、「ショッピング」（6.1%）、「イベント」（6.1%）、「飲食」（5.4%）などを合わせた「観光・娯楽」が55.4%と過半数を占め、「商用・公用」が12.3%、「帰省・冠婚葬祭」が10.3%、「大会・会議」が4.4%となっている。

【宿泊客の訪問観光施設】

全宿泊客のうち観光施設等を訪問すると回答した人は571人（81.5%）であった。訪問する割合が高い観光施設は、「名古屋城」（33.5%）が最も高く、次いで「熱田神宮」、「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」、「リニア・鉄道館」、「名古屋港水族館」、「名古屋科学館」となっている。

■宿泊客の主な訪問観光施設

（単位：％）

訪問施設 地域	名古屋城	熱田神宮	ミッドランドスクエア等	リニア・鉄道館	名古屋港水族館	名古屋科学館	テレビ塔	産業技術記念館	徳川美術館	東山動植物園	ノリタケの森	徳川園	その他	訪問施設なし	平均訪問施設数
東海	19.2	7.3	23.3	9.8	6.7	5.7	5.2	1.6	3.6	4.7	2.1	2.6	32.6	19.2	1.24
東海以外	39.0	17.1	7.5	9.1	7.3	7.3	6.3	5.7	4.7	3.9	4.5	4.1	36.2	18.3	1.53
全体	33.5	14.4	11.8	9.3	7.1	6.8	6.0	4.6	4.4	4.1	3.9	3.7	35.2	18.5	1.45

（複数回答）

【観光資源について】

名古屋市外居住の宿泊客が、満足した観光資源は「なごやめし」と「歴史的な施設」が多く、不満を感じた観光資源は特になく、次回の訪問意向としては「歴史的な施設」、「レジャー施設」など観光施設が上位である。

■名古屋の主要観光資源について

（単位：％）

	歴史的な施設	産業観光	レジャー施設	ショッピングなど	なごやめし	お祭りイベント	コンサートなど	スポーツ観戦	その他	特になし
満足した	34.5	7.6	12.4	25.9	38.0	4.7	7.8	4.4	4.4	15.6
不満を感じた	1.4	1.7	2.2	3.4	3.2	0.5	0.5	1.0	2.9	84.5
次回訪問意向	26.8	18.0	22.2	13.6	16.5	15.2	10.1	10.5	3.1	24.2

(3) 宿泊施設の状況

市内宿泊施設に調査票を配布し、施設の概要ならびに宿泊者数などを把握した。市内の総宿泊者数は、回答施設の実績から未回答分を推計し算出した。

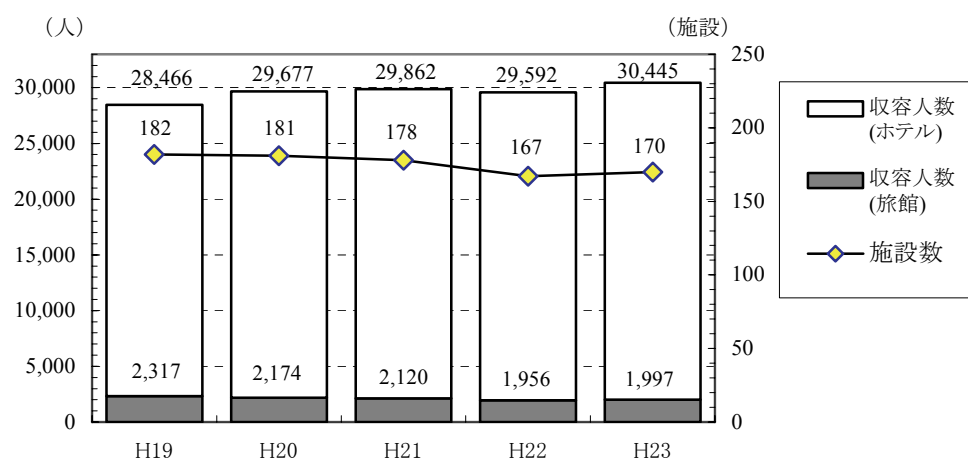
【宿泊施設数】

ホテル 129 施設、旅館 41 施設、合計 170 施設であり、昨年度に比べ 3 施設増加した。また、室数の合計は 21,650 室、収容人数の合計は 30,445 人であり、昨年度より部屋数は 548 室、収容人数は 853 人増加した。

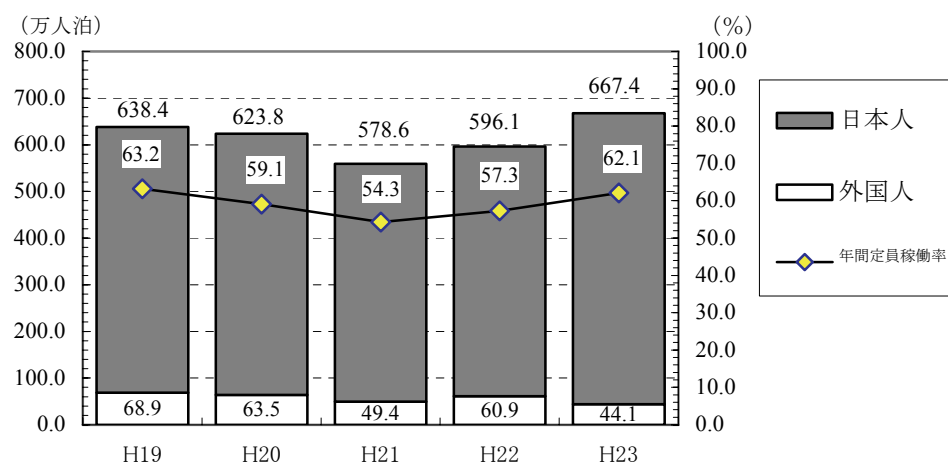
【年間宿泊者数】

年間宿泊者数は延べ数で約 667 万人泊、実人数で約 519 万人と推計される。昨年度に比べ、延べ宿泊者数、実人数とも増加している。また、外国人宿泊者数は、延べ約 44 万人泊、実人数で約 27 万人と推計され、昨年度に比べ、延べ人数、実人数とも減少している。

■ 市内宿泊施設収容人数及び施設数の推移



■ 施設延べ宿泊者数の推移



■ 推計年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移

年 度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
区 分	推計総実人数 (人)	4,845,349	4,719,502	4,604,248	4,608,978	5,192,149
	うち外国人	378,730	377,532	344,847	396,508	271,884
推計総延べ宿泊者数 (人泊)	推計総延べ宿泊者数 (人泊)	6,384,202	6,238,020	5,786,316	5,960,567	6,674,019
	うち外国人	688,805	634,900	494,002	609,400	441,255
年間定員稼働率 (%)		63.2	59.1	54.3	57.3	62.1

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数

【国別外国人宿泊者数】

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた 81 施設のうち、外国人が宿泊した施設は 77 施設であり、その宿泊者数の合計は 173,004 人であった。国別には「台湾」が 33.7% (58,217 人) と最も多くなっている。登録ホテルでは、台湾のほか、「タイ」「中国」「米国」などからも多くの宿泊者があった。昨年度と比較すると「台湾」の割合が 9.8 ポイント増加し、「中国」の割合が 10.2 ポイント減少している。

■ 国別外国人宿泊者数

	登録ホテル (人)	ホテル (人)	旅館 (人)	全 体		平成22年度 割合 (%)
				人数 (人)	割合 (%)	
回答数 (施設)	10	59	12	81		
中国	13,718	19,960	122	33,800	19.5	29.7
香港	6,497	4,538	16	11,051	6.4	3.8
台湾	14,504	43,674	39	58,217	33.7	23.9
タイ	14,140	4,964	24	19,128	11.1	8.3
米国	12,681	3,568	162	16,411	9.5	9.8
韓国	8,072	7,631	70	15,773	9.1	11.5
インドネシア	2,806	364	1	3,171	1.8	2.2
ドイツ	2,181	504	21	2,706	1.6	2.4
英国	1,383	774	27	2,184	1.3	1.2
シンガポール	1,129	663	2	1,794	1.0	1.8
フランス	1,062	601	30	1,693	1.0	1.1
オーストラリア	879	626	35	1,540	0.9	1.0
カナダ	597	634	14	1,245	0.7	0.8
その他	2,256	1,976	59	4,291	2.4	2.5
合 計	81,905	90,477	622	173,004	100.0	100.0

【修学旅行について】

修学旅行団体の受入実績について回答が得られた宿泊施設は 12 施設で、学校数は 95 校、宿泊者数は 6,645 人であった。昨年度に比べ学校数は 56 校、宿泊者数は 3,676 人と大幅に増加している。

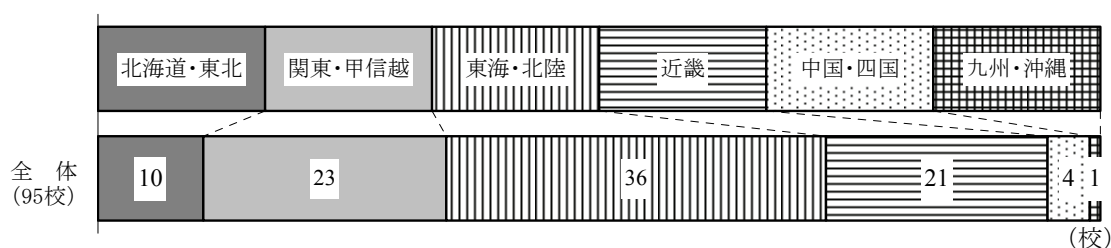
学校分類では「小学校」が 48 校、「中学校」が 11 校、「高校」が 16 校、「その他」が 20 校となっている。

地域別の学校数は、「東海・北陸」が 36 校、「関東・甲信越」が 23 校「近畿」が 21 校と多くなっている。学校分類では、東海・北陸は「小学校」(25 校)、関東・甲信越は「その他」(10 校)と「小学校」(8 校)、近畿は「小学校」(15 校)、北海道・東北や中国・四国は「高校」(各 6 校、4 校)が多い。

■ 修学旅行団体の受入実績の推移

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
学校数 (校)	59	60	40	39	95
宿泊者数 (人)	5,165	4,432	2,697	2,969	6,645

■ 地域別修学旅行団体受入状況



(4) 全国からみた名古屋の観光

名古屋への訪問実績や訪問意向、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、名古屋市を除く全国の18～79歳の男女個人を対象に、インターネットを用いて平成24年1月にアンケートを実施した（1,000サンプル）。

【過去5年間の訪問状況】

過去5年間の名古屋への訪問経験率は34.3%であり、その目的は、「観光施設の見学」、「仕事」、「友人・親戚への訪問」、「ショッピング」と多様である。

観光等が目的で訪れた方の直近の訪問では、日程は「日帰り」、「宿泊」がほぼ半々で、きっかけは「以前から訪れたいと思っていた」、「興味のある催事が開催されていた」が多い。

【観光資源について】

名古屋の主要な観光資源のうち、マスコミにもよく取り上げられている「なごやめし」が認知度、訪問・経験割合、訪問・経験意向の全てにおいてトップであり、次いで「史跡や遺産」となっている。

■ 名古屋の主要観光資源について

(単位：%)

	史跡や遺産	熱田神宮	リニア館など	科学館など	名古屋港	東山動植物園	栄	大須	なごやめし	一つもなし
認知度	63.2	56.1	19.4	17.1	28.5	45.1	40.4	18.6	69.1	8.6
5年間の訪問・経験	12.5	7.4	3.7	3.9	6.3	5.6	12.1	7.5	17.4	72.6
訪問・経験意向	48.6	29.7	21.5	19.2	20.2	23.7	16.6	11.6	52.7	10.9

【名古屋に対する評価】

名古屋を訪れた方の満足度は下記のようになっており、満足度が最も高いのは「なごやめしなどの食事」に対してで、次いで「観光施設」に対してであった。総合的な魅力の評価は「満足」が60.6%、「不満」が6.1%と訪問者は名古屋の観光に対して良好な評価をしている。

■ 名古屋の観光に対する評価

(単位：%)

	観光施設	係員などの親切さ	市民の親切さ、親近感	おみやげ品	なごやめしなどの食事	案内表示等	総合的な魅力
満足 計	60.9	47.3	38.1	48.1	68.2	35.1	60.6
不満 計	6.4	5.7	7.4	9.0	7.0	11.5	6.1

【名古屋の観光地としての魅力について】

名古屋が「観光地としての魅力はある」の割合は29.8%で、魅力を感じない理由としては「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄である」が多い。

【観光振興について】

平成19年7月から主要観光施設等を周遊する観光ルートバス「メーグル」の認知度は未だ5.9%と1割未満であるものの、利用意向は58.9%と高い。

平成21年11月に結成した「名古屋おもてなし武将隊」の認知度は26.4%で、認知経路は「テレビ」が大半である。

名古屋城「本丸御殿」の復元の認知度は17.4%で、復元された場合は大半（83.5%）が訪れたいとしている。

(5) 主要観光施設の入込客数

■主要観光施設別入込客数の推移

(単位：人)

施設 \ 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
名古屋城	1,196,500	1,246,279	1,352,344	1,517,727	1,414,769
東山動植物園	2,319,341	2,201,822	2,284,853	2,180,296	2,025,336
東山スカイタワー	289,767	298,801	305,625	299,008	273,541
テレビ塔	293,251	285,681	277,343	270,565	201,868
熱田神宮	6,512,112	6,417,500	6,652,665	6,713,174	6,716,036
名古屋港	643,632	586,788	526,306	464,479	462,104
名古屋市科学館	618,956	607,864	606,157	481,957	1,531,854
徳川美術館	219,494	239,506	218,048	210,408	204,215
名古屋市博物館	538,476	448,153	483,413	513,426	400,384
東谷山フルーツパーク	568,804	570,675	560,584	512,211	513,454
農業文化園・戸田川緑地	691,262	938,998	1,057,523	995,286	1,116,600
でんきの科学館	353,727	360,082	349,124	412,420	336,167
名古屋市美術館	374,303	474,264	380,365	463,085	309,872
名古屋港水族館	2,116,681	1,907,127	1,725,373	1,766,343	1,785,853
産業技術記念館	263,854	270,121	226,226	273,926	249,740
白鳥庭園	91,713	93,289	104,610	119,487	113,872
市政資料館	60,143	73,362	73,312	72,313	67,622
名古屋能楽堂	186,408	194,109	187,096	183,889	166,925
愛知県美術館	803,967	682,896	868,544	732,339	711,001
名古屋市農業センター	612,259	630,033	620,193	573,718	609,918
シートレインランド	731,388	690,717	638,597	623,193	604,748
有松・鳴海絞会館	179,689	213,812	177,211	177,631	159,824
ランの館	131,262	144,427	136,039	142,530	129,967
名古屋ボストン美術館	175,661	238,153	400,667	110,126	101,878
ノリタケの森	413,566	398,606	367,569	337,468	341,939
ブルーボネット	77,968	74,364	74,261	73,587	65,831
徳川園	249,227	256,921	258,143	242,024	251,721
文化のみち二葉館	35,792	33,716	40,325	38,056	32,191
イタリア村	1,272,200	66,500	-	-	-
ロボットミュージアム	333,508	-	-	-	-
スカイプロムナード	630,000	240,000	165,000	124,553	107,124
リニア・鉄道館	-	-	-	98,961	1,057,424
合 計	22,984,911	20,884,566	21,117,516	20,724,186	22,063,778

* 1：リニア・鉄道館は平成 23 年 3 月に開館した。

* 2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。ロボットミュージアムは平成 19 年 9 月、イタリア村は平成 20 年 5 月にそれぞれ閉館した。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

-概要版-

(平成23年度)

平成24年10月発行

発 行 名 古 屋 市 市 民 経 済 局
業務委託先 株 式 会 社 綜 研 名 古 屋